

令和4年度の共同募金をもとに 令和5年度に行われる活動

	事業名	実施団体	事業の概要	R5助成 決定額(円)
市内各地域で 活用される募金	地区社会福祉協議会等 公募事業	出雲市社会福祉協議会	地域住民によって組織された地区社会福祉協議会等が行う福祉活動に対して助成し、地域住民の主体的な地域福祉活動を支援します。 ・活動分野と助成メニュー ◇高齢者の健康と福祉を高める活動(見守り・声かけ活動、生活応援活動、認知症研修事業等) ◇心身に障がいのある人の福祉を高める活動 ◇子どもを健やかに育てる活動(子どもの居場所づくり、子育てサロン、子どもの遊び場新設及び補修事業等) ◇ボランティアの発掘及び育成のための活動(世話焼きボランティア講座等) ◇広報啓発のための活動(地区社協だよりの発行、住民座談会等) ◇福祉活動計画を作成するための活動 ◇その他地域福祉活動(相談所設置、地域支え合い研修等)	13,750,630
	ふれあいサロン団体 公募事業	出雲市社会福祉協議会	高齢者が地域で健康に過ごすため、身近な場所での高齢者同士の交流や健康学習の機会を提供し、地域での高齢者の支え合いを強化するとともに高齢者の閉じこもりを予防することを目的としたふれあいサロン活動を小地域で展開します。 サロン実施団体に助成し、活動を支援します。	6,174,000
出雲市全域で 活用される募金	福祉団体等活動支援事業 (公募事業)	出雲市社会福祉協議会	地域福祉の充実のため市内の福祉団体等が行う高齢者、障がい者、児童等の福祉の向上を目的とした事業を公募し助成します。	4,263,000
	認知症高齢者等SOSメール 安心ネットワーク事業	出雲市社会福祉協議会	出雲市社会福祉協議会では、日頃から認知症高齢者等を地域ぐるみで見守り、行方不明が発生した際にスマートフォンや携帯電話等のメールを使い、早期に発見する「SOSメール」を運用しています。 このしくみは、警察署又は出雲市社会福祉協議会からメール登録した発見協力者へ行方不明者情報を配信し、日常生活を送りながら「似た人を見かけた」などの目撃情報を最寄りの警察署へ連絡し早期発見に役立てます。 この事業では、登録者の拡大が大きな課題であり、一人でも多くの人に登録していただくため、チラシ等を活用して登録を呼びかけます。 また、警察による捜索活動と本人確認に役立てるため、行方不明になる心配のある方の情報を事前に登録する取り組みをしています。	67,000
	音訳広報発行事業	出雲市社会福祉協議会	視覚障がいのある方のために、広報紙「社協だよりいずも」を音訳し定期的に福祉情報を提供します。	193,000
	点訳広報発行事業	出雲市社会福祉協議会	視覚障がいのある方のために、広報紙「社協だよりいずも」を点訳し定期的に福祉情報を提供します。	59,000
その他 (出雲市共同募金委員会が 直接行う事業)	福祉団体等支援事業	出雲市共同募金委員会	助成は原則前年度計画、翌年度助成となっておりますが、緊急性のあるものに対し、年度内の申請に対し年度内に助成出来る仕組みを作っています。	200,000
歳末に各地域で 活用される募金	歳末たすけあい事業	出雲市社会福祉協議会	市内各地域で歳末に、一人暮らし高齢者世帯や低所得世帯等に対して、家屋の小修繕や清掃等の生活援助、見守り訪問等に活用します。	643,000
県内広域で 活用される募金	島根県内広域助成	社会福祉法人 NPO法人等 (災害支援への備えとして)	保育園・障がい者事業所などの施設整備等(プール整備、エアコン整備、厨房機器整備等)に活用されます。 また、災害時に備え寄附金の一部を積み立て大規模災害時が発生した場合にボランティアセンター運営支援・災害ボランティア活動へ活用されます。	12,510,000

※助成決定額には新型コロナウイルス感染症の影響を受け、事業中止・縮小等による令和4年度の助成金返還額を含みます。

令和4年度の共同募金(歳末たすけあい募金)をもとに 令和4年度に行われた活動

	事業名	実施団体	事業の概要	R4助成 決定額(円)
歳末に各地域で 活用された募金	歳末たすけあい事業	出雲市社会福祉協議会	市内各地域で年末時期に、一人暮らし高齢者世帯や低所得世帯等に対して、家屋修繕や清掃等の生活援助、見守り訪問、小中学生が高齢者に向けて書いた年賀状の送付等に活用します。	4,590,807